

市議会第二回定期会が6月8日から20日まで開催され、市政に対する一般質問は15日に行なわれ、6市議の中からは安達市議が片貝町に大規模な複合施設建設をと質し、関広一市長は市総合開発計画の中で位置づけて考えてゆきたいとしたものの、「地元の一定程度の総意が先」との見解を示した。要旨は次のとおり。

▽安達市議「かつて魚沼線の廃止に伴ない、当時の国鉄から沿線振興に交付金が下り、片貝地区の延長配分



は七千円だった。しかし、當時の市長は「片貝地区に最も適した施設を建設する時が来るまで、他に流用する」として、廃止の影響が最も大きかった片貝地区に使われることなく、この基金は終えてしまい、約束は未だ果たされていない。ゴードープランでは中学校区に一つのデイサービスセンターコンセプトが必要となるわ

り。

△安達市議「かつて魚沼線の廃止に伴ない、当時の国鉄から沿線振興に交付金が下り、片貝地区の延長配分

は七千円だった。しかし、當時の市長は「片貝地区に最も適した施設を建設する時が来るまで、他に流用する」として、廃止の影響が最も大きかった片貝地区に使われることなく、この基金は終えてしまい、約束は未だ果たされていない。ゴードープランでは中学校区に一つのデイサービスセンターコンセプトが必要となるわ

り。

△安達市議「かつて魚沼線の廃止に伴ない、当時の国鉄から沿線振興に交付金が下り、片貝地区の延長配分

は七千円だった。しかし、當時の市長は「片貝地区に最も適した施設を建設する時が来るまで、他に流用する」として、廃止の影響が最も大きかった片貝地区に使われることなく、この基金は終えてしまい、約束は未だ果たされていない。ゴードープランでは中学校区に一つのデイサービスセンターコンセプトが必要となるわ

り。

△安達市議「かつて魚沼線の廃止に伴ない、当時の国鉄から沿線振興に交付金が下り、片貝地区の延長配分

は七千円だった。しかし、當時の市長は「片貝地区に最も適した施設を建設する時が来るまで、他に流用する」として、廃止の影響が最も大きかった片貝地区に使われることなく、この基金は終えてしまい、約束は未だ果たされていない。ゴードープランでは中学校区に一つのデイサービスセンターコンセプトが必要となるわ

り。

△安達市議「かつて魚沼線の廃止に伴ない、当時の国鉄から沿線振興に交付金が下り、片貝地区の延長配分

は七千円だった。しかし、

## 片貝市議が一般質問で捉える

### 市長「地元の総意とりまとめを」と

△関市長「大規模複合施設建設をしていく。南部地区には福祉センター、みなみがオーブンしたが、北部地区においては計画年次さえも明らかになっていない。片貝地区は都市計画税が導入されない」として、廃止の影響が最も大きかった片貝地区に使われることなく、この基金は終えてしまい、約束は未だ果たされていない。ゴードープランでは中学校区に一つのデイサービスセンターコンセプトが必要となるわ

り。

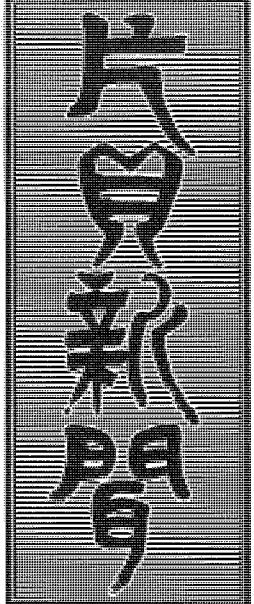
△関市長「大規模複合施設建設をしていく。南部地区には福祉センター、みなみがオーブンしたが、北部地区においては計画年次さえも明らかになっていない。片貝地区は都市計画税が導入されない」として、廃止の影響が最も大きかった片貝地区に使われることなく、この基金は終えてしまい、約束は未だ果たされていない。ゴードープランでは中学校区に一つのデイサービスセンターコンセプトが必要となるわ

り。

△関市長「大規模複合施設建設をしていく。南部地区には福祉センター、みなみがオーブンしたが、北部地区においては計画年次さえも明らかになっていない。片貝地区は都市計画税が導入されない」として、廃止の影響が最も大きかった片貝地区に使われることなく、この基金は終えてしまい、約束は未だ果たされていない。ゴードープランでは中学校区に一つのデイサービスセンターコンセプトが必要となるわ

り。

△関市長「大規模複合施設建設をしていく。南部地区には福祉センター、みなみがオーブンしたが、北部地区においては計画年次さえも明らかになっていない。片貝地区は都市計画税が導入されない」として、廃止の影響が最も大きかった片貝地区に使われることなく、この基金は終えてしまい、約束は未だ果たされていない。ゴードープランでは中学校区に一つのデイサービスセンターコンセプトが必要となるわ



発行所  
片貝新聞社  
〒947-0101 小千谷市片貝町10367-4  
TEL 0258-84-3246  
FAX 0258-84-2632  
編集発行人 吉原芳郎  
印刷所 吉原印刷株式会社

題字 黒崎敬源氏

J.A.片貝町  
シンボルマーク  
天の恵み地の恵み

篤志家から書籍一千冊も

5月から「けやき園・忍字亭の運営特別寄付金」集めの活動が始まっている。この活動は市の補助金と片貝町協議会の助成が主な運営財源としているが、現状では必要な備品購入もままならないため、吉井協議会長等が中心となり有志が「自分達で資金を集めよう」と立ち上がり、現在の寄付額は東京片貝会をはじめ各方面の協力により、当初目標額50万円は突破している。今年の寄付額は佐藤家の子孫から贈られた資料

一般から寄せられた品々、さらにはこの春には篤志家による千冊以上の図書の寄贈があり、徐々に建物の中味も充実している。また、けやき園・忍字亭の利用状況は、これまで資金を集めようとしているが、現状では必要な備品購入もままならないため、吉井協議会長等が中心となり有志が「自分達で資金を集めよう」と立ち上がり、現在の寄付額は東京片貝会をはじめ各方面の協力により、当初目標額50万円は突破している。今年の寄付額は佐藤家の子孫から贈られた資料

△鴻巣の「花母茶」  
今年も県道片貝—山谷線沿いの花火等の収納展示施設の整備が課題となっているとして位置づけられており、引続き検討して行きたい。田中氏へ流れたようだ。▼勝敗とは別に、4年前の総選時に立候補、か。自民は大幅減、民主

が去る5月28日午前10時から午後3時まで片貝公民館2階ホールで開催された。当日オール、ビル空缶、新聞紙など持参して参加した人達は、講師の佐藤守氏(小千谷市上ノ山)の指導で花瓶、お皿などの大作に挑戦して心地よい汗を流していた。

△鴻巣の「花母茶」  
今年も県道片貝—山谷線沿いの花火等の収納展示施設の整備が課題となっているとして位置づけられており、引続き検討して行きたい。田中氏へ流れたようだ。▼勝敗とは別に、4年前の総選時に立候補、か。自民は大幅減、民主

が去る5月28日午前10時から午後3時まで片貝公民館2階ホールで開催された。当日オール、ビル空缶、新聞紙などを持参して参加した人達は、講師の佐藤守氏(小千谷市上ノ山)の指導で花瓶、お皿などの大作に挑戦して心地よい汗を流していた。

△鴻巣の「花母茶」  
今年も県道片貝—山谷線沿いの花火等の収納展示施設の整備が課題となっているとして位置づけられており、引続き検討して行きたい。田中氏へ流れたようだ。▼勝敗とは別に、4年前の総選時に立候補、か。自民は大幅減、民主

が去る5月28日午前10時から午後3時まで片貝公民館2階ホールで開催された。当日オール、ビル空缶、新聞紙などを持参して参加した人達

